

新しい 庁舎は こんな ところ

ポイント
1 造船の技術を
駆使



建物の外装には地元産業の造船技術「ぎょう鉄」という鉄板を曲げる技術が随所に使われています。目の前の海にせり出すような形の2階バルコニーをはじめ、建物の形も船をイメージしており、向島側から見ると客船のよう。まさに「尾道らしい」庁舎です。

ポイント
2 休日も
立ち寄り可能



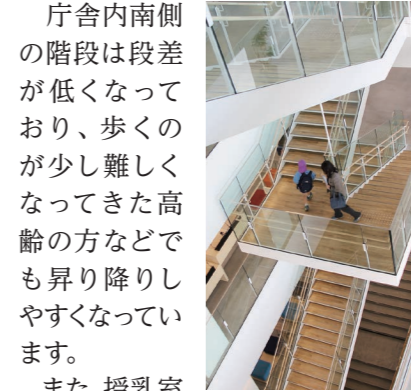
建物内は執務スペース部分と開放スペース部分とに分けられており、開放スペース部分には土・日・祝日も、誰でも自由に入出入りできます。屋上の展望デッキなどで目の前の景色を眺めながらのんびりとしたひとときを楽しめます。(8:30~21:00)

ポイント
3 子どもが
遊べるエリアも



1階南側のキッズスペースには、子どもが遊べる遊具やおもちゃなどが完備。手続きのついでに、子どもも楽しく遊ばせることができます。

ポイント
4 バリアフリー
にも配慮



庁舎内南側の階段は段差が低くなっており、歩くのが少し難しくなってきた高齢の方などでも昇り降りしやすくなっています。

また、授乳室やオストメイトにも対応した多目的トイレなども設置しており、さまざまな人が利用しやすくなっています。

ポイント
5 おしゃれなカフェ
でくつろいで



1階北側のカフェ「onomichi Roman coffee 尾道浪漫珈琲」では、挽きたて豆のコーヒーのほか、サンドイッチ、デザートなども販売。テイクアウトして海を眺めながら楽しむのもおすすめです。営業時間は8:00~20:00。



VOICE

1月5日(日)、内覧会に訪れた人に聞きました



新しい庁舎は明るくて開放的。天井も高くなっていて、窓が大きく、明るく感じます。普段は健康保険の手続きなどで市役所へ来ますが、待ち時間も苦にならなそうです。

市外からも、どなたが来ても恥ずかしくない建物ですね。この屋上からの眺めもとても素晴らしいです。私もすみっこの方に住ませてほしいくらい。笑



新たな防災拠点としても

大地震への対策として、地震の揺れを大幅に低減できる免震構造を採用しています。

また、1階の床を大地震で想定される津波の高さよりも高く設定しているほか、大規模な停電が発生したときも72時間以上対応できる自家発電装置を、5階に備えています。

災害時には防災の拠点としての役割を果たし、市民の皆さんの安全・安心を守れるよう設計されています。



◀非常用発電設備は最上階に設置しているので安心。



免震構造により、地震の揺れを大幅に低減できる。